

# RIDERS CLUB RACING TEAM & T-REV PRESS RELEASE



■ Date: 2013年 08月18日  
 ■ Race: モトレボリューション Rd.3  
 ■ Class: ATマスターズ  
 ■ Circuit: 岡山国際サーキット

## 『期待のライダー・オオニシを擁し、モトレボに参戦 決勝は総合28位・クラス6位でチェッカー』

2013年8月18日、岡山国際サーキットにてモトレボリューション Rd.3が開催された。昨シーズンに引き続き、ライダーズクラブRTはライダーにヒロキ・オオニシを起用。モトグツィ・V7クラシックはいくつかのバージョンアップを果たしていたものの、オオニシはこれを目にも止まるような速さで慎重にライディングし、その安定感をみせつけた。

予選では自己ベストとなる1分56秒488をマークしながらクラス6台中6位というお約束のポジションを獲得。総合30番グリッドからのドラマチックな追い上げ奮闘のだった。

決勝レースは灼熱の中、午後2時にスタート。ここでまたも慎重なライディングスタイルを崩すことなく、クラス6位という不動のポジションでチェッカーをくぐり、レースを終えた。

リザルト  
 予選: 30位 (クラス6位) 1分56秒488  
 決勝: 28位 (クラス6位) ベストラップ: 1分56秒936

### チームダイレクター: イタミタカヒロ

「再びヒロキをチームに迎え入れられたことを嬉しく思う。彼は昨年同様、常にプッシュし続け、グツィのポテンシャルを引き出すために努力を惜しまなかった。彼のレーシングスーツを見たか? あれは、このレースで披露されたまったくのおニューさ。そのポジティブな姿勢に我々も最大限のサポートで応えたいと思ったが、まだ足りないなにかがあるようだ。次戦への策は考えてある。今後のアップデートに期待してもらって大丈夫だ」

### ライダー: オオニシヒロキ

「昨年に続き、チームがこの僕にシートを用意してくれたことに感謝したい。なによりも、この壮大な宇宙一計画のメンバーに加われたことを誇りに思っている。スタッフは皆フレンドリーで家族も同然さ。すぐに打ち解けることができたよ。このマシンにスロットルを握ったのは一年振りだったが、確実にポテンシャルがアップしているね、驚いたよ。最後の最後でバックマーカーになってしまったが、僕は最大限スロットルを開け続けたし、あれ以上は困難だった。むしろ、ミスター・パンの агрессивなライディングが称賛されるべきだろう。気がついてるかい? 今回、我々に必要だったのはたったの2秒だったんだ。あと2秒速く走りさえすればバックマーカーから脱出できていたんだよ。次に期待して欲しい」



応援  
お願いします!

### ライダー・オオニシは 11月のTOTにも 参戦!

今回、グツィで健闘したライダー大西博規は、11月の“テキスト・オブ・ツクバ”への参戦を予定している。マシンはグツィとは縁もゆかりもないカワサキ・ZRXだが、ぜひ応援をお願いします。実は初参戦した2年前には、最速クラスのハルキュリーズで3位表彰台に上るなど、やればできる子なのだ

次はこの背中を  
釋ませてやるぜ!



9月29日 (日) King of Euro Fighter  
 11月24日 (日) Moto Revolution Rd.4  
 問い合わせ/岡山国際サーキット TEL:0868-743311

### モトレボに 行こう&走ろう!

全宇宙から集まったライダーが熱いレースを繰り広げるのが岡山国際サーキットで開催されるイベントレース“モトレボリューション”。今年も残すところはあと2戦。参戦はもちろん、観るだけでも楽しめるバイクのお祭りにぜひ足を運ぼう!



ライダー大西はT-REVでお馴染みの寺本自動車商会の営業マン。全国のショップに出張中

# Long Term Impression

## 本誌編集部員&ライターの本気ライフ

そろそろ秋が近づいてきてよさそうなのも  
 世の中はまだまだ夏真っ盛り  
 本誌スタッフは今月もレースにカスタムにと元気です!

vol.27

性懲りもなくモトレボに4度目の挑戦状  
 念願の周回遅れ脱出は目前か!?  
 と思いきや、まあだいたいいつも通り

# 1

Moto Guzzi  
 V7 Cafe Classic

# 俺のグツィは 宇宙一!

担当 → 伊丹孝裕

宇宙一号のレース参戦もこれで4回目  
 いい加減、周回遅れを脱したいもの  
 今回もまああれなりだったわけ……

PHOTO/Y.FURUYA TEXT/TITAMI  
 取材協力/サイドポイント TEL:0869-34-9966 <http://sidepontoon.co.jp/>  
 岡山国際サーキット  
 TEL:0868-74-3311 <http://www.okayama-international-circuit.jp/>  
 寺本自動車商会 TEL:072-875-8088 <http://www.teramoto.biz/>  
 ペビーフェイス TEL:0721-24-8882 <http://www.babyface.co.jp/>  
 トミートイズデザイン TEL:072-940-6230 <http://tomtoydesign.com/>  
 岡田商事 TEL:03-3474-4201 <http://www.okada-corp.com/>  
 Jスタイル TEL:072-952-2220 <http://www.j-trip.co.jp/>  
 自家焙煎珈琲明日香 TEL:079-426-2622 <http://www.asuka-coffee.com/>  
 ダブルオーグラスギア TEL:075-493-2228 <http://www.double-o.com/>  
 モトサロンオカ TEL:0748-71-2880 <http://www.motosalon-oka.com/>  
 トップス TEL:06-6788-3399 <http://7tops.co.jp/>  
 カワサキマーカー TEL:06-4860-7781 <http://www.kawasaki-mercury.co.jp/>  
 ヒョウドウ TEL:053-465-8281 <http://www.hyoud-products.com/>

さて、去年もまたつたけれど、この夏はさらにレース三昧。6月にはバイクスピートの山の中で「トライアンプ最高」と叫び、7月には鈴鹿で「ドゥクワイ楽しい」と惚れ直していたわけでした。そんな気分とは裏腹に体はややお疲れ気味。加えて、たまたた仕事も片付けなきゃならず、グツィで計画していた8月のモトレボリューションへの参戦は泣く泣く断念することになった。だからと言って、いつまでもほったらかしなままでは「俺のグツィは宇宙一!」とか言い張るわけ

にもいかず、昨年同様、岡山国際サーキットのチャンピオンにして鈴鹿4耐での優勝経験もある国際ライダー、大西博規に代役参戦をオファー。実戦テストとタイムアップを託したのである。そんなグツィのレース参戦も気がつけばこれで4戦目。足周りもエンジンには地味にポテンシャルアップを果たしてきたため、周回遅れの度合いも徐々だが改善されてはいるのだ。いや、本当に。なわけで、今回こそトップと同一周回でフィニッシュさせるべく、岡山国際サーキットへと送り込んでみる。



予選は30位。グリッドは当然最終列で後ろには誰もいないがチームクルーに支えられ、オオニシは決勝での劇的な追い上げを誓った



「ヒロキのため、再びここに立てたことを光栄に思っている。その熱い走りをこれからも支えていくつもりだ」(サカタカユキ)



「グリップはイタリアブランドのドミノをチョイスした。吸いつくような握り心地でアクセルはいつでもどこでも全開さ」(オオニシヒロキ)

バンク角はまだ足りないものの、コーナーリング中の一体感は今より確実に向上している



スタート直後のポジション争いは悪くなった。しかし、1周目のバックストレートで抜いたはずの全車に抜き返される……